

こゆさを思いやりには

97 田 しまり

新潟県中越地震は、私の心の中につまみでも残るだろう。

午後五時五六分。買い物から帰って階段を

二、三段登ったところで、グシヤグシヤメリ

メリ、ガワガワ、様々なうなり声を鳴しながら

ら地にうまつているプレートがけんかをし始

めた。何が何たかさ、ほり分らない。ただ、

となりにあった水そうからふれこぼれる水

とんどん物が落ちたり割れたりする音をよく

覚えている。パニツクになり恐怖心を押しえ

きゆが思ゆがさけんだ。

「だれか、助けてー」

泣きながらさけんだ私。こゆさでいっばい

たった。

一週間のひなん生活。大地がゆれた二十三

日は、中央図書館へ行つた。それはいいけ

れい、図書館に入るまでが長かった。外で三

時間くらいあった。たく山の人がいる。家族

